

2020

IoTStation_CO2

設定簡易 マニュアル

IoTStation_CO2	設定方法マニュアル	confidential
----------------	-----------	--------------

目次

1. 概要	3
1.1. 本資料の目的	3
1.2. 概要	3
2. ユーザーの管理について	4
2.1. ユーザーの種類	4
2.2. 利用可能な機能	4
2.3. 注意事項	5
3. 端末の管理単位（テナント／グループ）について	6
3.1. 管理単位の種類	6
3.2. 管理単位に対するユーザーの種類の関係	7
3.3. 注意事項	7
4. 通知の設定	8
4.1. 概要	8
4.2. 通知の種類	8
4.3. 通知の送信先について	9
4.4. 通知の受信時間の制御	9
4.5. 通知条件の設定	10
4.6. 連続した通知を回避する設定	11
4.7. 通知条件の詳細設定	12
4.8. 通知条件に紐づくメールテンプレート	16
4.9. 注意事項	17
5. 建物管理の設定	18
5.1. 概要	18
5.2. 建物、フロアの管理	18
5.3. 端末の配置	19

IoTStation_CO2	設定方法マニュアル	confidential
----------------	-----------	--------------

改訂履歴

Rev	日付	内容	作成者
1.00	2020/04/24	初版	伊藤

IoTStation_CO2	設定方法マニュアル	confidential
----------------	-----------	--------------

1. 概要

1.1. 本資料の目的

本資料は IoTStation for ZETA CO2（以下、本システムと記載）におけるユーザー管理者の設定作業における通知条件／建物管理のデータの関連性や設定時の注意事項等を記載します。

1.2. 概要

本資料では主な設定項目として以下の 5 点についての説明を記載します。

- ・ユーザーの種類について
- ・テナント／グループと端末の関係について
- ・通知設定について
- ・建物管理について

IoTStation_CO2	設定方法マニュアル	confidential
----------------	-----------	--------------

2. ユーザーの管理について

2.1. ユーザーの種類

本システムではユーザーの権限を以下の2種類準備しています。

種類	役割
ユーザー管理者	テナント内での全ての設定を行うことができます。 また、全端末の管理が可能です。
ユーザー	ユーザー管理者によって割り振られた端末に限り、情報を参照と一部の設定が可能です。

2.2. 利用可能な機能

ユーザー管理者とユーザーの利用可能な機能については以下の表を参照してください。

○：使用可能、△：一部制限付きで可能、×：使用不可

分類	メニュー	ユーザー管理者	ユーザー
共通	ログイン	○	○
	パスワードアシスタント	○	○
	お問い合わせ	○	○
Top ページ	Top ページ	○	○
ダッシュボード	ダッシュボード	○	△※1
稼働端末	稼働端末一覧	○	△※1
基本設定	テナント	○	×
	ユーザー名	○	△※2
	グループ	○	×
	端末	○	×
通知設定	通知条件設定	○	×
	テンプレート	○	×
	使用テンプレート設定	○	×

IoTStation_CO2	設定方法マニュアル	confidential
----------------	-----------	--------------

建物管理	建物／フロア	○	×
	端末設置場所	○	△※1
データ管理	データ出力	○	△※1

※1) テナント内の自分に紐付いたグループのみ可能

※2) 自分のみ変更可能

2.3. 注意事項

・ユーザー作成時にはメールアドレスの登録を推奨しております。

メールアドレスを登録しない場合、利用者がパスワードアシスタント（パスワードを忘れた際のメールを利用したパスワード再設定機能）が利用できません。

※ユーザー管理者による上書き更新は可能です。

・ユーザー名について、本システム内で一意である必要があります。

そのため、ご契約のテナントで使用していないユーザー名でも「既に登録されています」となり、利用できない場合があることをご了承ください。

IoTStation_CO2	設定方法マニュアル	confidential
----------------	-----------	--------------

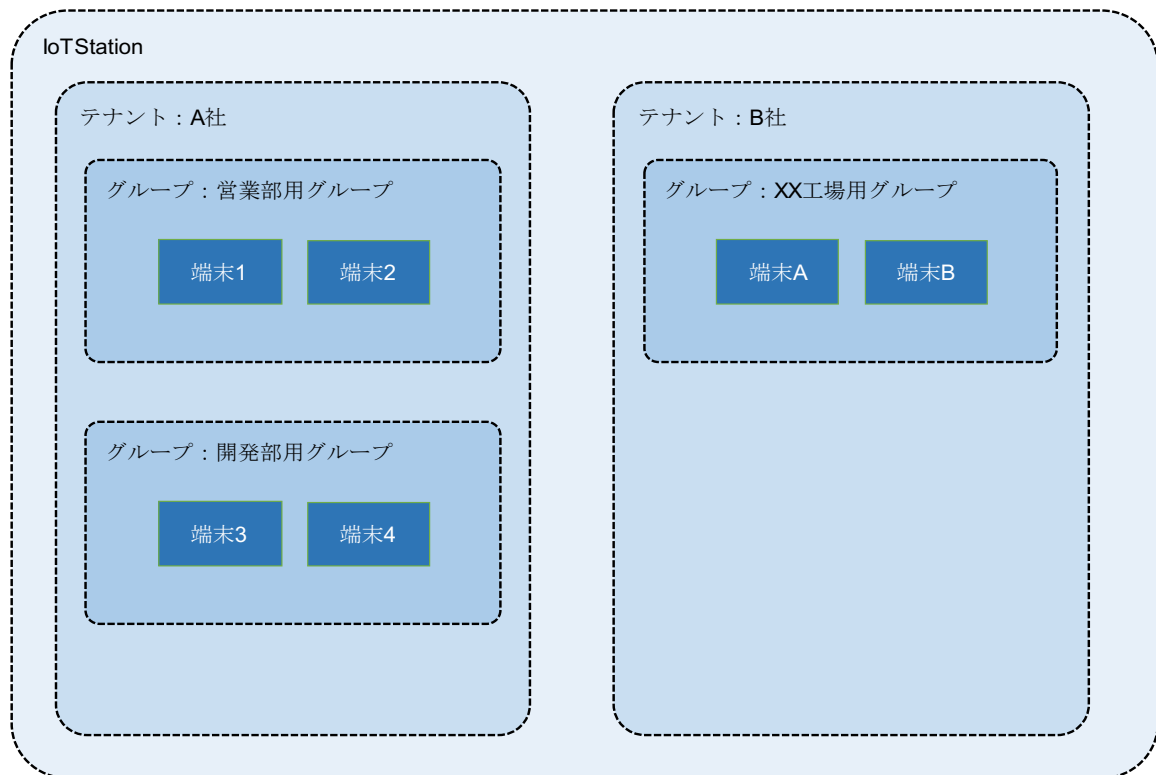
3. 端末の管理単位（テナント／グループ）について

3.1. 管理単位の種類

本システムではデータを送信する端末の管理単位として、以下の2種類が存在します。

種類	単位
テナント	ご契約企業単位
グループ	ご契約企業内での任意の単位 ※ユーザー管理者が任意で作成可能

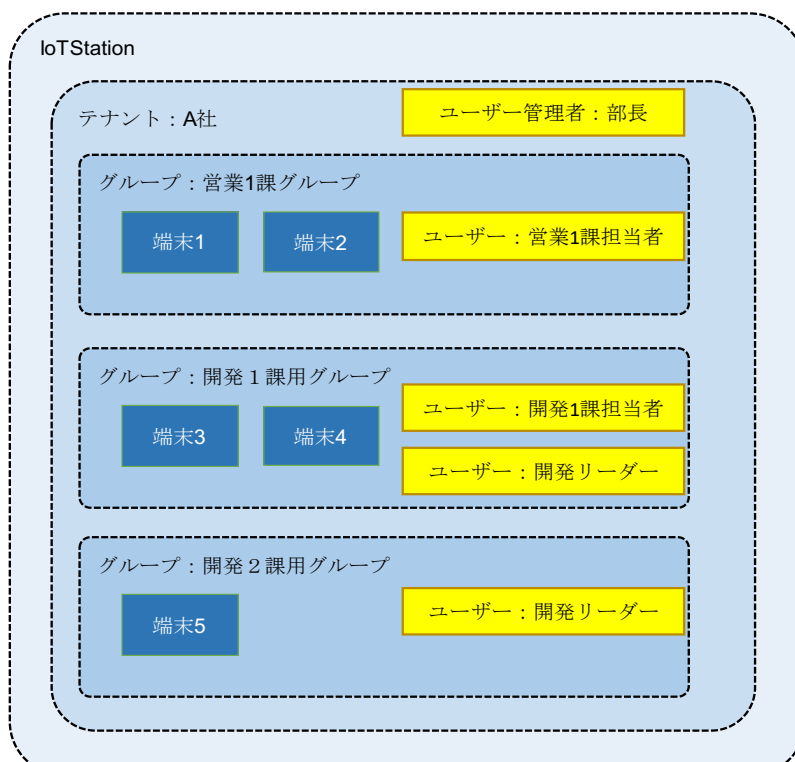
上記を図で表したものを以下に記載します。



3.2. 管理単位に対するユーザーの種類関係

ユーザー管理者は自テナント内の全てを管理可能です。
 ユーザーは事前に設定されたグループに対しての操作しかできません。
 ただし、複数グループに対してユーザーを設定することが可能です。

- 例) ユーザー管理者である部長は、すべてのグループを管理できます。
 ユーザーは 3 人登録されており、それぞれ以下のように設定をすることが可能です。
- 営業 1 課担当者：営業 1 課グループ
 - 開発 1 課担当者：開発 1 課用グループ
 - 開発リーダー：開発 1 課用グループ、開発 2 課用グループ
- 上記を図にすると以下ようになります。



3.3. 注意事項

- 1 つのグループに大量の端末を設定すると、ダッシュボードでの表示が遅くなる場合があります。
 表示する単位として、1 グループ 10 台までを目安にご登録ください。

IoTStation_CO2	設定方法マニュアル	confidential
----------------	-----------	--------------

4. 通知の設定

4.1. 概要

本システムでは通知機能を利用して、端末からのデータに条件を付けて各担当者にメールを送信することができます。

各通知は、「通知の送信先の設定」と「通知の条件」に分けて設定を行います。

4.2. 通知の種類

種類	内容
通知条件	<p>端末からデータを受信した際に、事前登録した条件に合致している場合のみ通知を送信します。</p> <p>また、上記通知を送信後に条件に合致しなくなった場合には復帰通知を送信します。</p> <p>例)</p> <p>温度が 10 度を超えた場合に通知する条件で通知した場合、温度が 9 度になった時点で復帰通知が送信されます。</p>
死活監視	<p>端末からのデータが設定された間隔(分)内に送信されてこなかった場合に通知を送信します。</p> <p>また、死活監視通知を送信後、データを受信した場合には死活監視復帰通知が送信されます。</p> <p>例)</p> <p>死活監視間隔 (分)を 10 分で設定した場合、最後にデータを受信した時刻から 10 分後までにデータを受信しないと、死活監視通知が送信されます。</p>

IoTStation_CO2	設定方法マニュアル	confidential
----------------	-----------	--------------

4.3. 通知の送信先について

各通知の送信先については、2 種類の設定単位があります。

1. グループ単位
2. 端末単位

それぞれ、基本設定のグループ／端末から、任意のグループ／端末を選択して設定します。

グループ単位で設定された通知先には、グループ内の全端末の通知が送信されます。

端末単位で設定された通知先には、対象の端末の通知が送信されます。

ある端末の通知先と、その端末の属するグループの通知先に同じ内容を登録した場合、2重に通知が送信されます。

4.4. 通知の受信時間の制御

各通知先を登録する際に、通知を受信する時間帯を設定することが可能です。

※受信可能時間外に発生した通知は、次の受信可能時間になった際に送信されます。

設定可能な内容は以下となります。

種類	内容
有効時間設定の有効/無効	有効にすると、以下の設定に従って通知の送信時間を制御します。
曜日	メールを受信可能な曜日をチェックします。「 <input type="checkbox"/> すべて」をチェックすると、全曜日で受信します。
開始時間/終了時間	メールを受信する範囲を設定します。

参考：設定画面レイアウト（端末設定/グループ設定より）

通知先追加

通知種類 **必須** メール

通知先 **必須** test@example.com

有効時間設定 **ON**

曜日 すべて

月 火 水 木 金 土 日

開始時間 (例 09:00) 終了時間 (例 18:00)

09:00 18:00

登録 キャンセル

4.5. 通知条件の設定

通知条件は「通知設定」>「通知条件設定」にて設定可能です。

参考：通知条件画面レイアウト

通知条件登録画面

有効 **ON**

通知条件名 **必須** 温度異常検知

端末 すべて

フォーマット マルチセンサー

通知間隔時間 (分) **ON** (例) 1時間半の場合→「90」と入力してください。

通知条件の定義 **追加**

番号	条件	
1	温度>30	⚙️
2	and	
3	湿度>50	⚙️

IoTStation_CO2	設定方法マニュアル	confidential
----------------	-----------	--------------

設定は大きく分けて 4 つの要素があります。

No	要素	項目のラベル
1	通知条件の識別	通知条件名
2	通知条件の対象	端末 フォーマット
3	通知条件のオプション	有効 通知間隔時間(分)
4	通知条件詳細	通知条件の定義

No.1 についてはそのままの項目です。通知条件を識別しやすい名前を付けてください。

No.2 については、設定によって以下のように通知条件のチェックをかける対象が変わります。

設定項目	設定内容	対象
端末	すべて	フォーマットを選択し、そのフォーマットを利用している全端末を対象にします。 ※フォーマットは接続されているセンサの組み合わせに対してシステム管理者で事前に設定しています。
	任意の端末	特定の端末のみ対象にしたい場合、任意の端末を選択します。 端末を選択した場合、フォーマットは自動的にその端末に紐づいているフォーマットが固定されます。
フォーマット	任意のフォーマット	端末をすべてで選択している場合のみ設定可能です。通知の対象にしたいフォーマットを選択します。

No.3 の「有効」については、本通知条件を利用するかどうかを選択します。

「通知間隔時間(分)」については後述の「連続した通知を回避する設定」の説明をご参照ください。

No.4 については後述の「通知条件の詳細設定」の説明をご参照ください。

4.6. 連続した通知を回避する設定

通知条件による通知では、データを受信する際に毎回判定が行われます。

そのため、例えば 10 分に 1 回受信する端末に対して、温度が 10 度超過の設定を行うと 10 度を超えてから、再度 10 度を下回るまで、通知が 10 分毎に送信されることになります。

このような重複した通知を防ぎたい場合「通知間隔時間」を設定することで対応できます。

通知間隔時間はその条件で最後に通知を行ってから、再度通知を行うまでの間隔を設定します。

IoTStation_CO2	設定方法マニュアル	confidential
----------------	-----------	--------------

以下のように設定した場合の例を以下に記載します

- ・通知条件：温度が 10 度以上
- ・通知間隔時間：60 分

データ 受信時刻	温度	通知 送信	通知
10:00	9℃	×	条件外のため、未送信
10:10	10℃	○	通知送信
10:20	11℃	×	10:10 に送信してから、60 分を超えていないので未送信
10:30	12℃		
10:40	12℃		
10:50	12℃		
11:00	12℃		
11:10	12℃		
11:20	13℃	○	通知送信（60 分超えたので、再度送信）

4.7. 通知条件の詳細設定

通知条件の詳細では、実際にどのようなデータを受信した際に通知を発生させるかを定義することができます。

各項目に対しての閾値を設定していく形になります。

複数の条件を組み合わせる場合は、複数回条件を追加することで対応します。

主な設定方法について、以下に設定例を記載します。

(1) ある項目 1 つが閾値を超えた場合

例) 温度が 30 度を超えた場合、通知を飛ばす

1. 通知条件の定義から、「追加」をクリックし、以下の通り設定して、「登録」をクリックします

項目	入力	画面表示
条件	なし	
名称	気温	
式	>	
値	30	

2. 以下の通り表示されますので、右上の「登録」をクリックして完了します

通知条件の定義		追加
番号	条件	
1	気温>30	⚙️

IoTStation_CO2	設定方法マニュアル	confidential
----------------	-----------	--------------

(2) 複数の項目のいずれかが閾値を超えた場合 (Or 条件)

例) 温度が 30 度を超えた もしくは 湿度が 50%を超えた場合、通知を飛ばす

1. 通知条件の定義から、「追加」をクリックし、以下の通り設定して「登録」をクリックします

項目	入力	画面表示
条件)	
名称	気温	
式	>	
値	30	

2. 以下の通り表示されます

通知条件の定義		追加
番号	条件	
1	(
2	気温>30	⚙️

3. 再度、「追加」をクリックし、以下の通り設定して「登録」をクリックします

項目	入力	画面表示
条件	or)	
名称	湿度	
式	>	
値	50	

※条件は「or」を選択していた場合、次の画面では最後の)が表示されませんが、登録時に自動補完されますので、2つの条件だけの場合は同じ動きになります。

4. 以下の通り表示されますので、右上の「登録」をクリックして完了します

通知条件の定義		追加
番号	条件	
1	(
2	気温>30	⚙️
3	or	
4	湿度>50	⚙️
5)	

IoTStation_CO2	設定方法マニュアル	confidential
----------------	-----------	--------------

(3) 複数の項目の、いずれも閾値を超えた場合 (And 条件)

例) 温度が 30 度を超えた かつ 湿度が 50%を超えた場合、通知を飛ばす

1. 通知条件の定義から、「追加」をクリックし、以下の通り設定して「登録」をクリックします

項目	入力	画面表示
条件	なし	
名称	気温	
式	>	
値	30	

2. 以下の通り表示されます

通知条件の定義		追加
番号	条件	
1	気温>30	

3. 再度、「追加」をクリックし、以下の通り設定して「登録」をクリックします

項目	入力	画面表示
条件	and	
名称	湿度	
式	>	
値	50	

※条件は「and」を選択していた場合、次の画面での表示は違いますが、そのまま登録を
すると自動補完されて同じ条件になります。

4. 以下の通り表示されますので、右上の「登録」をクリックして完了します

通知条件の定義		追加
番号	条件	
1	気温>30	
2	and	
3	湿度>50	

IoTStation_CO2	設定方法マニュアル	confidential
----------------	-----------	--------------

4.8. 通知条件に紐づくメールテンプレート

通知条件を設定した後は、以下の2種類の設定が必要です。

- (1) テンプレート
- (2) 使用テンプレート設定

テンプレートでは、メールのタイトルと本文の設定を行います。

テンプレートでは置き換え文字列が使用できます。

使用可能な置き換え文字は以下の通りです。

置換文字列	内容	置き換え後の値の例	備考
{device_id}	端末 ID	DEV001	
{device_name}	端末名	温湿度 1	
{date_time}	データ送信日時	2020/01/01 12:34:56	
{date}	データ送信日	2020/01/01	
{time}	データ送信	12:34:56	
{status1} ~ {status9}	実際の受信データ	1.23	稼働端末詳細画面で日時の右の項目から、順番に status1、2 となる

参考：テンプレート設定

テンプレート登録画面

登録
削除
キャンセル

通知種類 必須

メール

テンプレート名 必須

マルチセンサー温度超過

件名

{device_name}({device_id})の温度が閾値を超過しました

本文

{device_name}({device_id})の温度が閾値を超過しました。

発生日時：{time}

温度：{status1}

受信データ：{real_data}

※件名と本文では、置き換え文字を使用して実際のデータを表示させることができます。
以下のものが置き換え文字とその内容の一覧です。
[device_id] ⇒ 端末ID
[device_name] ⇒ 端末名
[date_time] ⇒ データ送信日時
[date] ⇒ データ送信日
[time] ⇒ データ送信時刻
[status1]-[status9] ⇒ 「稼働端末一覧」の各端末詳細画面にて表示されるデータ項目の順番と対応しています。

IoTStation_CO2	設定方法マニュアル	confidential
----------------	-----------	--------------

4.9. 注意事項

- 通知条件を作成した後、テンプレートの作成および使用テンプレート設定を行わないと通知が行われませんのでご注意ください。
- 通知間隔設定を行わないと、予期せぬ量のメールを受信する場合がありますのでご注意ください。

5. 建物管理の設定

5.1. 概要

本システムでは端末を設置した場所をグラフィカルに管理できます。
管理対象としては、以下の2階層に分かれます。

1. 建物
2. フロア

5.2. 建物、フロアの管理

左メニューの「建物管理」>「建物/フロア」から設定画面へ遷移できます。
画面上部で「建物」を管理します。

建物はビルイメージです。建物の名前と、緯度経度を設定します。

画面下部は、「建物」の中の「フロア」を管理します。
フロアはビル内の任意の階もしくは部屋のイメージです。
こちらはフロアマップの画像を登録して管理します。

参考：建物登録画面

番号	名称	画像
1	2階	
2	3階	

5.3. 端末の配置

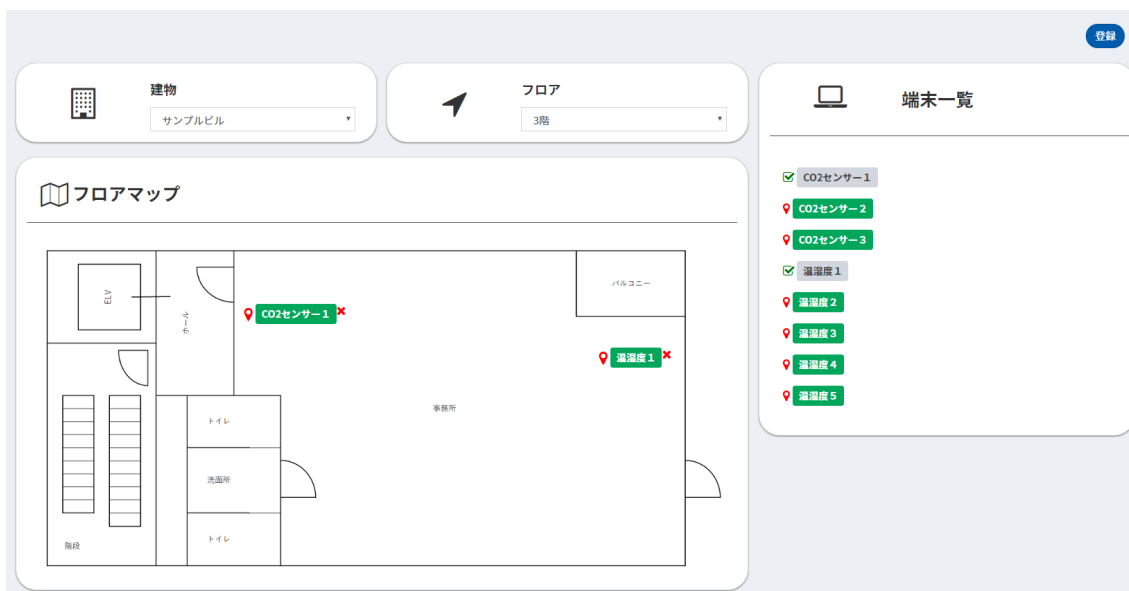
左メニューの「建物管理」>「建物/フロア」から設定画面へ遷移できます。

「建物」と「フロア」を登録後、そのフロアのどこに端末を設置したかを設定することができます。

※現状センサデータとの連携は行っておりません。

1. 画面上部の「建物」と「フロア」のプルダウンより、設定する対象を選択します。
2. 対象フロアのフロアマップと、設置可能な端末が表示されます。
右側の端末一覧から、設置した端末名をドラッグして、フロアマップに配置します。
※既に別フロアに設置されている端末は端末一覧には表示されません。
また、対象フロアに設置済みの端末は、チェックマークのついた設置済み状態として表示されます
3. 各端末をドラッグ後、「登録」ボタンをクリックしてください
※登録をクリックせずに、建物/フロアを変更すると、設定内容が破棄されますのでご注意ください。

参考：端末設置場所



以上

IoTStation_CO2	設定方法マニュアル	confidential
----------------	-----------	--------------